

stories

広報かわねほんちょう



視線の先に「希望」が見える

【平成23年成人式・1月9日・文化会館】

吐く息も白く染まる寒空の下、平成23年成人式が挙行されました。

本年の対象者は平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた108人。

式典には89人が出席。新成人たちは、未来への第一歩を踏み出しました。

6-11ページ 特集2【エール】

yell

【新成人たちに贈る賛歌】

2011

2

No.64



対話

町政懇談会の模様を振り返る

佐藤町政発足後、初となる町政懇談会は昨年10月から11月にかけて、9会場で開かれた会場では、佐藤町長から町政報告がなされ、参加者と活発な意見を交わした

約1カ月で9会場 活発な意見を交わし合った

10月25日の小長井集会所からスタートした佐藤町政初の「町政懇談会」は、約1カ月間かけて、全9会場をまわった。

各会場には、町民、議会議員、町職員など延べ396人が参加し、地区の現状やこれからのまちづくりのあり方などについて意見を交わし合った。

各区分からは町の施策に関することから日常生活に関する身近なことまで、さまざまな質問や意見が投げかけられた。

代表的なものとして▼情報通信基盤(光ファイバ網)整備事業について▼いやしの里診療所の今後▼人口の減少・定住対策の進捗よく▼小中学校の統廃合

や複式学級・川根高校の存続について▼道路・バイパスなどの整備状況▼観光施策▼茶業をはじめとする農林業の対策などについて多数の意見が寄せられていた。

その他にも▼区集会所などの管理に関すること▼増加傾向にある鳥獣被害の対策▼本町は今後合併をするのか▼地名保育園や本川根北小学校の施設活用方法など、地域に密着した課題についての質問も見られた。

最も多かった質問・意見は 情報通信基盤整備事業

各会場の開催記録を振り返ると、今、住民の皆さんが何に關心を持っているのか、どんなことに不安を感じているのかなどが浮き彫りになってくる。今回

人口の減少に歯止めを

各地区とも、少子高齢化、人口減少に対する不安感が増している様子がうかがえた。

人口の増加を図るための対策、定住の対策を求める意見が多数見られた。代表的なものに「就職口が少ないため、若者が外へ出てしまう。若者が町内に残りたくなくなるような対策を」「人口が増えなければ町の存続も活性化もない。交流や定住対策は進んでいるのか」「高齢者のみの世帯や独居世帯、空き家が増えている。長期的視点に立つて対策を考えて」「人口増加のビジョンを示して」などが見られた。

町では「地域の元気を再生させるためには、定住人口、移動人口(ビジネス関連など)、交流人口などの増加を考える必要がある。定住はもちろん、交流人口を増やすことが地域の活性化につながる」と考えて

いる」と答えている。

いやしの里診療所の今後

地域医療を支えていた「いやしの里診療所」の今後について心配する声もあった。

「診療中の患者さんは病院を替える必要がある」「若者の定住のためにも、近くに医師がいないと不安ではないか」といった意見が多かった。

町では「1日も早く後任の医師が見つかるよう努力したい」と答えている。

小学校統廃合などについて

中川根南部小学校の複式学級(23年度から)に関する質問が見られた。

「今後、小学校の統廃合も視野に入れるべきでは」という質問に対して町は、「将来的には考える必要がある。しかし現時点では、複式学級を支援することで、より良い教育環境の充実を考えた

小長井～奥泉の9カ所で 延べ396人が耳を傾ける



開催日	会場	人数
10月25日	小長井集会所	61人
10月27日	山村開発センター	41人
11月8日	中川根南部小体育館	37人
11月10日	千頭東区会館	47人
11月16日	藤川集会所	48人
11月18日	本川根中学校格技場	29人
11月22日	徳山コミュニティ防災センター	34人
11月25日	地名集会所	39人
11月30日	奥泉集会所	60人

※町政懇談会全体の参加者数(延べ人数)は396人。うち男性は330人、女性は66人だった。

▶町政報告に耳を傾ける住民の皆さん。奥泉集会所には60人が参加した。



情報通信基盤整備事業住民説明会は昨年8月から10月にかけて実施された。



いやしの里診療所は平成19年に開院。現在、後任の医師を捜している。



交流人口の増加が町の活性化につながると町では話している。



子どもたちのすこやかな成長を見守るため最適な教育環境が求められている。

さまざまな質問や意見が投げかけられた懇談会
どんな質問が多かったのか、町はどう答えたのか



徳山コミュニティ防災センターには34人が参加した。



小長井集会所 61人参加



中川根南部小 37人参加



千頭東区会館 47人参加

【問】「人口増加」させるための定住対策や職場の確保など、今後どのように方針を立てて実行していくのか。

【答】若者定住対策の住宅を地名地区に建設し、一定の成果を上げている。ちゃつきり娘養成講座や緑のふるさと協力隊などの交流事業も鋭意継続中である。就職口の確保は難問だが、売れるものづくりの推進を図るなどして新たな雇用を生み出すことが有効な施策になると考えている。

【問】光ファイバ網整備は、本当に実施するのか。また住民の理解は進んでいるのか。事業開始後の機器の維持管理経費などに不安はないか。

【答】本事業は、この町の将来にとって必要不可欠な事業であると確信している。都市部との格差のみならず、本町内でも情報格差が発生している現状があるため、1日も早く

解決を図らなければならない。住民の理解度はまだまだ足りないと感じているが、各団体から要望があれば説明に向いて理解を進めていきたいと考えている。できるだけ多くの世帯に加入してもらえよう、魅力ある事業としていきたい。

【問】小学校の統合についてどのように考えているか。

【答】23年度、中川根南部小の2、3年生が複式学級となる見込み。当面は、統合よりも複式学級の運営方法やその良さを認識し、より良い教育環境の整備を図っていきたい。

【問】北小学校施設の今後の利活用はどのように考えるか。

【答】町が管理している施設は校舎、グラウンド、プール。今後、これらの施設を集会所などに活用する場合、補強が必要。全体で約1億2,600万

【問】茶業の後継者がいなくなってしまう心配がある。機械化による集団営農などの構想が必要ではないか。

【答】茶業では、生計を立てることが難しくなってきたおり、このことが兼業化や茶業従事者の減少につながっている。経営の継承が困難な農家が多い中、新規参入者などを受け入れる体制づくりも必要と考える。そのため、生産効率を高める機械化・省力化は必要な手段だが、傾斜が多く、小規模に散在する本町の茶園の場合、大型機械の性能を最大限生かすためには基盤の整備が必要となる。投資効果を上

げるためには、規模の拡大、営農組織化、機械の共同利用などが重要で、加工工場と連携した機械化生産の検討も必要。町では、県の指導を受けながら、営農指導を進める農協とも連携し、支援を続けたいと考えている。

【問】野菜など作物の鳥獣被害（イノシシ、ハクビシン、アナグマ、カラスなど）が増えて

困っている。対策を考えて。

【答】農作物の被害が町全域で増加していることは、町としても深刻な問題と考えている。防護柵の設置補助、猟友会への委託による有害鳥獣駆除などの対策を講じているが、被害は減っていないのが現状。現在実施している対策を検証し直し、より効果の高い対策を考えていきたい。

【問】年金だけでは生活が厳しい。高齢者の所得が上がる仕事を開発してほしい。

【答】高齢者の雇用環境は依然厳しい。本町では、高齢者の就労機会確保と福祉増進を図るため、シルバー人材センターに補助金を交付し、同センターの育成および援助をしている。同センターでは、運営基盤の強化や事業拡大などの活動を展開中であり、このセンターを活用し、生きがいの充実や社会参加へつなげてもらえたらと考える。

【問】行政改革に取り組んでいるようだが、その進捗よくは。

【答】行革の推進は、町にとって重要事項。集中改革プランの79項目に対し、2億600万円の削減を実現した。本年度から事業評価を実施し、職員個々が事業の課題を再確認するなど効果を上げている。

【問】投票所が遠くなり、投票が困難な人が増えた。元の場所に戻す考えはないか。

【答】投票区の減は、役場職員（選挙事務従事者）減少への対応と選挙事務経費の削減を目的としている。町としてはこのままの体制で実施していきたいと考えている。期日前投票などの有効活用もお願いしたい。

【問】主要道路（バイパス）の早期着工・整備を願いたい。

【答】関係機関への要望を継続中である。大きな事業費がかかるため完成時期については示されていないが、早期着工・整備が実現できるよう、今後

も働きかけていく。

【問】介護施設への入所待機者が多いと聞く。今後の対応を

【答】介護施設への入所待機者が多いと聞く。今後の対応を

【問】地区集会所は耐震構造ではない。老朽化も激しく維持管理に苦勞している。地元負担金の軽減を願いたい。

【答】集会所施設の維持管理は各区にお願している。耐震補強、屋根の改修も修繕工事として対応してほしい。集会所の維持管理に対する町からの支援は合併時に統一しているため、ご理解いただきたい。

対話

町政懇談会の模様を振り返る

まちを元気に

現在、国内はおるか世界を見渡してみても先行き不透明な不況が続いています。

私は町長に就任してから一貫して、『町を元気にしたい』と言いつけてきました。しかし町の現況を言えば、人口はピーク時の3分の1程度にまで減少し、今年1年を振り返ってみてもさまざまな分野で厳しい情勢が続いています。茶業、商工業、建設業、どれも元気がなくなっていると感じています。

さまざまな分野で課題が山積していますが、将来に向けて、この町を元気にしていきたいければなりません。「癒しの里づくり事業」や「生涯学習事業」など、地域の元気づくりには、何より地域の皆さんの力が必要です。町としても、各自治会が力を付けるためのサポートなどを検討しています。今後とも皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

佐藤公敏町長

今年の県内の新成人は
3万6822人

県教委は平成23年の新成人を3万6822人（男性1万8934人、女性1万7888人）と発表した。前年に比べて1394人減少。ここ3年連続して減少傾向にあるという。市町別に見ると、浜松市が最多の7553人、続いて静岡市6686

人、富士市2616人となっている。前年に比べて新成人が増えたのは10市町。湖西市75人増、富士宮市66人増、南伊豆町62人増、下田市57人増、長泉町37人増、函南町20人増、川根本町20人増など（富士宮市と湖西市は合併した旧町分を含む人数）。県内では一部地域を除く全市町が1月9日に成人式を開き、新成人の門出を祝っている。

喜びあふれる声が響く

晴天に恵まれた1月9日。新成人の門出を祝う平成23年成人式は文化会館で挙行され、新成人89人が集った。

正午過ぎ、晴れ着姿やスーツ姿の新成人が、続々と会場に姿を現し始める。

「久しぶり!」「元気があった?」。喜びあふれるいくつもの声が、同館玄関前に響き渡った。

午後1時。中学生ボランティアの鈴木龍弥君と中野志保さん（ともに中川根中）が大きな声で開式を告げる。ステージ上では新成人の小中学校時代のスライドが上映され、館内は大きな歓声に包まれた。どの顔にも、懐かしさがこみ上げていた。

中澤莊也生涯学習課長が新成人の名前を読み上げ、一人一人が立ち上がって一礼。その様子がスクリーンで上映されると、再び大きな歓声が上がった。

この後、佐藤町長、来賓の皆さんから、心のこもった祝福のメッセージが贈られた。

新成人の主張を述べた石原佑美さん（崎平）と前田美咲紀さん（上長尾）。堂々とした姿でステージに上がり、仲間や両親ら

人、富士市2616人となっ

ている。前年に比べて新成人が増えたのは10市町。湖西市75人増、富士宮市66人増、南伊豆町62人増、下田市57人増、長泉町37人増、函南町20人増、川根本町20人増など（富士宮市と湖西市は合併した旧町分を含む人数）。

県内では一部地域を除く全市町が1月9日に成人式を開き、新成人の門出を祝っている。



大池幸男
静岡県議会議員

育ててくれた人たちに感謝を
立派になった皆さんが本当に頼もしく見えます。育ててくれたご家族、地域の皆さんに、ぜひ感謝を伝えてください。私は毎年、本町の成人式に参加させてもらっています。町の皆さんが丁寧に作り上げるアットホームな雰囲気が好きだからなんです。現在、さまざまな分野で大変厳しい時代を迎えています。これから皆さんは、それぞれ違う道を歩んでいかれますが、いずれこの町で、町の活性化のために力を貸してください。

に向かつて、将来に向けた決意を述べた。式典の最後、謝辞を述べた植田淳也さん（藤川）。新成人を代表して力強い感謝の言葉を述べ、深々と頭を下げた。

また、会おう

恩師からメッセージが贈られた後、ステージには赤石太鼓保存会が登場。赤石太鼓経験者の新成人が中心となって赤石山霊竜神太鼓などの曲を披露し式典に花を添えた。館内は大きな拍手に包まれ、盛会のうちに式は幕を閉じた。

「また、会おう。」
式典後の会場内から、そんな言葉が聞こえてきた。



1 赤石太鼓経験者が迫力のパチさばきを披露 2 終始笑顔があふれた会場内 3 見守る来場者の目も温かい 4 再会に話も弾む 5 中学生ボランティアが受付などで活躍した

特集2【エール】

well

【新成人たちに贈る賛歌】

華やかな衣装に身を包み、晴れの門出を迎えた108人の新成人（式出席89人）あこのころも、今も、そしてこれからも変わらぬ笑顔で明日を見つめる新たな一步を踏み出した若者たちに心を込めて贈る「エール」

静岡市で看護の勉強をしているという坂下桃子さん（藤川）。「患者さんの心に寄り添い、信頼される看護師になりたいです。今日は久々に会う友人も多く、すごくうれしいです」と話していた。

INTERVIEW 新成人

新成人に現況や町の将来像について聞いた

医療に興味持ち、看護の道へ

上田英理さん
（奥泉）

浜松市の看護学校に通っています。実習などの勉強は大変ですが、患者さんと触れ合うことで充実も感じています。本町に帰ってくると、とてもリラックスできます。離れたことで、改めて大切な場所なんだと思えるようになりました。

仕事にやりがいを感じている

植田淳也さん
（藤川）

鳥田市の中部電力㈱で事務などの仕事をしています。電気は生活に欠かすことができません。人の役に立つ仕事として、とてもやりがいを感じています。この町は、緑が豊かな町です。いつまでもこの自然が残ってほしいと思います。



▲仲間と久々の語り
の言葉 ▶ 恩師から祝福
つめる目も楽しげだ





信頼という言葉の大切さを知った 「笑顔」を心がけ、成長していきたい

前田美咲紀さん（上長尾）

名 古屋にある鍼灸の専門学校に通い始めて2年がたとうとしています。
私は何か資格を持ちたいと考え、鍼灸の道に進みました。鍼灸は、一般的には針治療のことを指しますが、その中でも私が興味を抱いたのは「美容に効く鍼灸」でした。美容そのものに興味があり、その関係に進みたいと思っていました。インターネットで鍼灸について調べたとき、「やってみよう」という軽い気持ちで入学しました。
しかし「鍼灸」は、医療系の専門技術。実際に勉強し始めると、思っていた以上に難しく、専門的な知識も数多くありました。中でも実技は思うようにいかないことが多く、みんなに迷惑をかけてしまう

こともありました。
でも私はこの学校で、「信頼」という大切な言葉の意味を学びました。この学校に入ったばかりの頃から「この職業は患者さんに信頼されることが一番大切なんです」と先生に聞かされてきました。最初はあまり気にも止めていませんでした。
2年生になってからは「臨床」という生徒同士が「患者役」と「治療をする役」に分かれて実技をする授業が多くなり、この授業で改めてコミュニケーションすることの難しさを実感したのです。
もともと人見知りな私に、患者さん役の人から話をしたらいいのかわからない、何を聞いたらいいのかわからない、聞き手が多々あります。しかし鍼灸師にとって対話する

ことはすごく大切な技術。こうしたコミュニケーションができれば、最適な治療ができず、患者さんにも信頼してもらえません。
今年も3年生。学校附属の治療院で一般の患者さんと相手をしながら実習が始まりました。患者さんとうまくコミュニケーションできるか不安があります。一つだけ分かっていることがあります。それは「笑顔」で接することの大切さです。笑顔は人を和ませ、安心させる力があると思うからです。
これから1年間、人との信頼関係を大事にし、患者さんと上手に向き合っていけるよう努力を続けていきたいと思っています。
これまで大切にしてきた友達や家族と同様、患者さんやこれから出会う人たちと笑顔で接し、信頼される人間に成長していきたいと思っています。

教師になるという夢をかなえたい 感謝を胸に、これからも歩いていく

石原佑美さん（崎平）

私は今、静岡の大学で教師になるという夢に向けて勉強に励んでいます。「教師」という夢。そのきっかけは、小中高と、私に影響を与えてくれた先生たちとの出会いによるものでした。
私が出会ったどの先生も、いつも真剣に向き合ってくれ、心から尊敬できる人たちがばかりでした。そんな先生たちの姿を見て、私も子どもたちと関わり、その思いを分かち合いたいと思っただけです。しかし大学に入り、その夢がぐっと近づいてくると、正直、戸惑いも感じ始めました。今まで遠くでキラキラと輝いていた教師という職業が、いきなりリアルなものとして自分に迫ってきたのです。「なりたい」という思いより、「うまくやっていけるのか」

という不安の方が大きくなり、夢と向き合うことが苦しいものに変わっていききました。
そんな中、静岡市の小学校に教育実習に向き、4年生のクラスを受け持つことになりました。実習初日、焦りと不安につぶされそうになりながらも、担任の授業の進め方や指示の出し方などを必死で観察しました。それだけで精いっぱいでした。
しかし放課後、担任の先生に「今日は子どもたちを見るのができましたか」と言われ、そこではと気が付いたんです。「子どもと向き合う」という、教師の原点を忘れていたことを。
次の日からは、子どもたち

に目を向け、接することを意識して授業に臨みました。すると、自分のことを積極的に話してくれる子が増えました。子どもたちは教師の心に敏感に反応しているんだと驚かされました。子どもと向き合っているうちに、子どもの成長を実感することもできました。立派にやり遂げたとは言えませんが、この教育実習を経験することで、もう一度夢と向き合うきっかけをもらったような気がします。
今、夢に向かって歩んできた自分を振り返ると「人との出会い」に恵まれたことに感謝せずにいられません。この町を離れたことで、改めてたくさんの人に支えられ、大切にされてきたんだと実感しています。皆さんに「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。
私が本当に自立するのは2年後の大学卒業の時です。その時胸を張って自分の選んだ道を歩めるよう、あと2年間精いっぱい悩みながら進んでいきたいと思っています。



話してくる子が増えました。子どもたちは教師の心に敏感に反応しているんだと驚かされました。



私たちに憧れの存在でした

成人の日を迎えられた皆さんおめでとうございます。社会に出て活躍していたり、勉強に励んでいたりと、自信と希望に満ちた毎日を歩んでいる様子が、皆さんの表情から伝わってきます。私たちが小学校に入学したとき、最上級生として温かく迎えてくれたのがここにいる皆さんでした。入学したばかりで何も分からなかった私たちに、優しく声をかけてくれた皆さんは、さ

まさな場面で、私たちに憧れの存在でした。
中学3年になった今、私はまだ将来進むべき道がはっきりとせず、将来のことを考えると不安に思うこともあります。でも今日、新成人の皆さんの自信に満ちた表情を見て、私たちも自分の夢を追いかけ、しっかりと自分を持って歩いていかなければならないと、大きな勇気をもらいました。大人として第一歩を踏み出した皆さんの、これからの活躍を願っています。

この町の動向に関心を持ち続けて

成人の日を迎えた皆さんは、晴れて大人の仲間入りし、法律的に権利が与えられると同時に、自らの行動と判断に社会人としての責任と義務を求められるようにもなりました。家族や隣人、地域社会などに対して、どんな役割を果たせるのか、何をしたいかということをしっかり考えてほしいと思います。厳しい社会情勢の中、地域の課題は地域自らの力で解決していくという強

固な意志で、歴史、産業、文化、人情などを生かした「活力ある地域」をつくっていく必要があります。新しい時代の担い手として、皆さんの熱気と行動力に、大きな期待を寄せています。どうか皆さん、この町の動向に関心を持ち続けてください。どこにいたとしても、懐かしい古里の情景や過ごした日々を思い出してほしいのです。古里川根本町には、いざというとき、皆さんを奮い立たせる「大きな力」が隠されています。



川根本町長 佐藤公敏

message 本川根中3年 石川愛理さん

message

成人一人一人が自覚する場

成人式には「成人を迎えた若者を祝う」という目的の他にも大切な意義がある。新成人一人一人が権利、義務、責任など「社会の一員になったこと」を自覚し、気持ちを引き締める場でもある。本町で開かれる成人式では一貫してその目的や意義が守られてきた。新成人は節度を持って式典に臨み、厳粛な雰囲気で行進していく。そ

れぞれの表情には、新成人としての自覚と感謝の心がしっかりと見てとれる。そんな、他に誇れる成人式が毎年、連綿と受け継がれてきた。

しかし全国を見渡してみると、決してそんな式典ばかりではない。「私語をやめない」「不必要に騒ぎ立てる」「携帯電話で大声で話す」「飲酒しながら参加する」「会場内で暴れ回り、式典の進行を妨害する」などのケースが毎年のように問題になり、テレビや新聞を

にぎわせている。逮捕者が出るほどエスカレートした式典もあるほどだ。

全国に見る「行き過ぎた式典」

1999年 仙台市ではエジプト考古学者の吉村作治氏が講演した際、新成人のマナーの悪さに激怒したという。2001年 高松市では新成人男性5人が、当時の市長に向かってクラッカーを打った。那覇市では新成人の一部が市街地でどんちゃん騒ぎ。20

02年を最後に市主催の成人式は取り止めとなった。

2003年 姫路市では式典終了後に新成人の集団が喧嘩を始め、止めに入った警察官2人に暴力を加えた。

2004年 伊東市では、新成人6人が式典を妨害し市側が告訴に踏み切った。

2010年 半田市では一部の傍若無人な新成人が羽織はかまで日本と韓国の国旗を持ち出し、銅像の上に乗ったり、クラッカーや打ち上げ花火な

どを使って騒いだ。

成人式の七五三現象

外面的には着物で豪華に着飾っていても、内面的には大人になりきれしていない。他人の迷惑をかえりみず、行き過ぎた行為に走ってしまう。結果、本来一人前の大人として決意すべき場である成人式が、かえって若者のモラル低下を露見させる場となってしまう。このような現象を「成人式の七五三現象」という。

成人式は「新成人を祝う」ためだけの式典ではない
これまで見守り育ててくれた人たちに、心を込めて感謝を伝える場でもある
大人としての義務と責任を自覚し、希望を胸に一步を踏み出すときでもある



特集の終わりに「取材を終えて」

終戦間もない頃に始まった成人式。昭和21年、埼玉県蕨町（現蕨市）では、敗戦に打ちひしがれた若者を、地域住民が何とか励まそうと「青年祭」を開いた。この催しが原型となって全国に広まり、現在の「成人式」に発展したのだ。成人式発祥の地である蕨市の蕨城址公園にはそれを記念した碑が立ち、今も全国の若者たちを見守っている。

晴天に恵まれた今年の成人式。会場には笑顔があふれた。久々の再会。思い出話にも花が咲く。仲間同士で撮影する記念写真。白い歯がこぼれた。和やかなムードが、祝福する保護者や来場者の心をも温かくした。「荒れた成人式」がメディアをにぎわせるようになったのは、いつのころだったか。「酒を飲み騒ぎ立てる」「ステージに上がり来賓に悪態をつく」「暴れて喧嘩を始める」…。そんなニュースが流れるたびに、「またか」と思った人も多いだろう。晴れの門出であっても、とても「祝福」

愛情と人情が育て上げた成人式

本町の成人式を見つめて5年になる。毎年、若者たちが自覚と感謝を胸に、希望に満ちた表情で一步を踏み出していく。その姿を、いつもすがすがしく思ってきた。ここには暴れ回る者も、悪態をつく者もない。どの成人も、実にいい顔をしている。都市部で開かれる式典のような派手さはないものの、ここの会場が一体となった、アットホームな式典は珍しいのではないかとさえ思う。大池幸男県議が述べた祝辞にも、そのことが表れていた。

新成人たちが幼い頃から、家族や恩師、地域の人たちが惜しみなく注いできた愛情。目をかけ手をかけ声をかけてきたあふれる人情。そんな温かな地域の「土壌」があるからこそ、節度ある若者がはぐくまれ、連綿と受け継がれる「成人式」が育てられてきたのではないか。誰の心も温かくなる成人式。それはこの町の誇りだ。



支えてくれた人たちに感謝を贈り、惜しみなく降り注ぐ拍手に、感動を覚えた今日という日
君たちが今、胸の内に抱く「決意」こそ町の誇りだ
夢へと歩む途中で、悩んだり迷ったりしたら、思い出してほしい
この町には、君たちを見守り支える、いくつもの手があることを
踏み出す足の先に、真っ直ぐに続く、未来への道が見える



特集2【エール】

yell

【新成人たちに贈る賛歌】

確定申告の時期を迎えました

平成22年分

所得 申告が必要な人は▼個人事業者や農業・不動産所得のある人、年金をもらっている人、土地・建物を買った人などで、所得額が発生する人▼サラリーマンで、給与の年収が20万円を超える人や給与以外のアルバイト収入・農業所得などの合計金額が20万円を超える人です。

作成 成した申告書は、島田税務署に郵送してください。身近にインターネットができる人がいれば、国税庁ホームページの「申告書作成コーナー」から作成するのが簡単便利。医療費控除や住宅ローン控除を受ける人など、還付金を早く受け取ることができます。国税庁 <http://www.nta.go.jp>

申告 前に、役場で電子証明を取得して「電子申告」をすると▼添付書類の提出が省略できる▼初めての申告、最高5,000円の税額控除がある▼24時間受け付けているなど特典があります。**個別** 別相談を希望する人は従来どおり受付順に相談を実施しますが、ご自分で申告書を作った人は、別に職員が対応しますので、短時間で申告が済みます。お勤めの人を対象とした日曜納税相

談は、山村開発センターと総合支所で各1回実施します。**農** 業収支内訳書を事前に提出してきた収支内訳書に記入してからご来場ください。

● 地区巡回相談日程表

2月 受付：午前9～12時、午後1～3時 (全会場)		
相談日	会場	対象地区
16日(水)	山村開発センター	田野口
17日(木)	山村開発センター	久野脇
18日(金)	奥泉地区集会所	大間・接岨・奥泉・大谷・八木
20日(日)	山村開発センター	全地区対象
21日(月)	総合支所	青部・崎平
22日(火)	総合支所	小長井・小幡・洗富・坂京・平栗
23日(水)	総合支所	千頭東・千頭西・寺馬
24日(木)	山村開発センター	上長尾・高郷1-5班
25日(金)	山村開発センター	高郷6-12班・梅高
27日(日)	総合支所	全地区対象
28日(月)	下泉高齢者コミュニティセンター	下泉・沓町河内
3月 受付：午前9～12時、午後1～3時 (全会場)		
相談日	会場	対象地区
1日(火)	下泉高齢者コミュニティセンター	地名
2日(水)	下泉高齢者コミュニティセンター	徳山1-20班
3日(木)	徳山コミュニティ防災センター	徳山21-33班・元藤川1-4班
4日(金)	徳山コミュニティ防災センター	元藤川5-21班
7日(月)	山村開発センター	水川
8日(火)	山村開発センター	八中・瀬平・下長尾
9日(水)	山村開発センター	久保尾
10日(木)	総合支所	上岸・前山・田代・柳三
11日(金)	総合支所	桑野山・沢間・土本・細尾・小山
14日(月)	山村開発センター	全地区対象
15日(火)	山村開発センター	全地区対象

▶期間中の相談時間は午前9時から12時、午後1時から4時(全会場とも)。午後は比較的空いています ▶土地や株式譲渡、山林所得のある人の分離申告は、比較的空いている午後の時間帯にお越しください。

出張納税相談 2月24日(木) 午前9～12時、午後1～3時 山村開発センター ※島田税務署が担当します。小規模事業者、消費税の申告をする人は、この出張相談日にお越しください。

日曜納税相談 山村開発センター 2月20日(日) 総合支所 2月27日(日) ※会場の混雑をさけるため、日曜日に納税相談を実施します。時間は両会場とも午前9時～12時、午後1時～3時です。指定日に都合の悪い人は、この機会をご利用ください。

持ち物 税務署や役場から送られてきた申告書や収支内訳書、印鑑、ボールペン、還付の場合は振込先口座の分かるもの、給与の源泉徴収票・公的年金の源泉徴収票
医療費控除を受ける人▶必ず申告前に人別・病院別に仕分け、合計金額を計算してください。医療費の明細書(役場にありますが)に事前記入が済んでいれば、短時間で終了できます。
住宅取得控除を受ける人▶住民票の写し、契約書、借入金年末残高証明書、登記事項証明書など
譲渡・山林所得のある人▶契約書など譲渡内容や、入金の日が分かるもの
その他の所得がある人▶支払い明細書や契約書など所得の内容や、入金の日が分かるもの

22年分所得税の確定申告、23年度住民税申告の時期になりました。申告会場や持ち物をよく確認して、忘れずに申告しましょう。

民生委員・児童委員と主任児童委員

各委員が改選されました。任期は25年11月30日までの3年間です。

【問】 福祉課 ☎ (56) 2224

民生委員法で定められた各委員は住民の福祉の増進を図るための活動に取り組んでいます。改選された各委員を紹介します。

民生委員・児童委員を紹介

(敬称略)

下段は担当する地区名



長嶋 勝 接岨



波多野かつ枝 大間



森下升美 奥泉1-4組、谷畑



上田まり子 大沢、奥泉5-8組(土本除く)



大村勝枝 沢間、土本

中村裕平 桑野山、平栗

風間敏興 寺馬

向島祥子 千頭西、千頭東1-3組

大村哲男 千頭東4-13組

高橋ひとみ 小長井東・北・西2-3組

芹澤弥恵子 小長井南・中・西1組



佐藤京子 上岸、前山

澤本文男 田代・柳三

堀井智恵子 崎平

下嶋俊考 青部

千澤文子 坂京

小田文善 藤川11-11組

高本親義 藤川12-21組



中尾叡子 水川・尾呂久保

酒井久美 上長尾

池田敏子 高郷(12組除く)

小坂昌博 八中・高郷12組

瀧美富夫 梅高

小坂鈴代 下長尾

瀧尾治子 瀬平



松下岩子 久野脇

森下道子 地名・塩郷

西村 學 下泉(小竹除く)

入屋繁夫 沓町河内・小竹

小川正雄 田野口

原田ゆきゑ 徳山11-11組

南 正子 徳山12-17組、21-25組



主任児童委員を紹介

(敬称略)

※主任児童委員は町全域を担当

高村信子 徳山18-20組、26-34組

太田瑞枝 主任児童委員

鈴木なな子 主任児童委員

井澤史子 主任児童委員

大村美也子 主任児童委員

本 町民生委員・児童委員と主任児童委員の委嘱交付式は12月8日、本庁会議室で開かれ、佐藤公敏町長から新委員の皆さんに委嘱状が伝達されました。民生委員・児童委員と主任児童委員は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣および静岡県知事から委嘱され、▼民生委員児童委員協議会への参加▼要支援者(一人暮らし高齢者や障害者など)の把握と支援協力▼保育園入園申請時の家庭状況の確認証明▼福祉サービス利用申請時の支援(家庭状況の確認証明など)▼住民からの相談に応じ、町や社会福祉協議会に引き継ぐ▼災害発生時の要支援者の避難支援などの活動に取り組んでいます。

【各委員の職務】 民生委員法第14条

- 1 住民の生活状態を必要に応じ適切に把握しておくこと。
- 2 援助を必要とする者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行うこと。
- 3 援助を必要とする者が福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供その他の援助を行うこと。
- 4 社会福祉を目的とする事業を営営する者または社会福祉に関する活動を行う者と密接に連携し、その事業または活動を支援すること。
- 5 社会福祉法に定める福祉に関する事務所、その他の関係行政機関の業務に協力すること。

地域社会の世話役の立場にある各委員個性や生活の知恵を活かし、さまざまな活動が進められることが期待されています。

各 委員には守秘義務が課せられています。日常生活での困り事など、地区の民生委員・児童委員に気軽にご相談ください。

くらしの カレンダー 2月

【代表電話番号】 ☎56-1111
役場本庁
1F 税務課 ☎56-2223
 福祉課 ☎56-2224
 地域包括支援センター ☎56-2225
 生活健康課 ☎56-2222
 建設課 ☎56-2227
 出納室 ☎56-2228
2F 総務課 ☎56-2220
 企画課 ☎56-2221
 産業課 ☎56-2226
3F 議会事務局 ☎56-2229

【代表電話番号】 ☎59-3111
総合支所ほか
1F 商工観光課 ☎58-7077
 管理室 ☎58-7073
 住民生活室 ☎58-7070
 福祉介護室 ☎58-7071
 産業建設室 ☎58-7076
 教育総務課 ☎58-2555
 生涯学習課 ☎58-7080
 文化会館 ☎59-3106
 本川根B&G海洋センター ☎59-3332
 山村開発センター ☎56-2231

各種相談・お知らせ

- 行政相談
2月1日 ☎ 9:00~11:30 福祉センター
【問】総務課 ☎(56) 2220
- 社会福祉協議会「よろず行政相談」
2月1日 ☎ 9:00~11:30 福祉センター
- 社会福祉協議会「よろず相談」
2月16日 ☎ 9:00~11:30 生活改善センター
- 社会福祉協議会「法律相談」
2月23日 ☎ 10:00~15:00 生活改善センター
【問】社協本川根 ☎(59)2315 同中川根 ☎(56)1872
- 精神保健福祉総合相談 精神保健、断酒など
2月8日 ☎ 藤枝市中部健康福祉センター 13:15受付
2月23日 ☎ 藤枝市中部健康福祉センター 13:15受付(断酒会)
※要予約 中部健康福祉センター障害福祉課 ☎054(644) 9279



やまびこ号のコース

【問】生涯学習課 ☎(58)7080

	地名集会所	西地名	塩郷	下泉駅	下泉原	農協茶工場	南部小学校	高郷住宅		
Aコース	着 9:15	9:40	10:10	10:30	10:50	11:15	13:15	13:45		
	発 9:35	10:00	10:25	10:45	11:05	11:35	13:35	14:00		
	尾呂久保	田野口駅	上長尾集会所	八中集会所	中央小	高郷NTT	三共生コン			
Bコース	着 9:20	10:00	10:30	11:10	13:05	13:30	13:45			
	発 9:40	10:20	10:50	11:30	13:25	13:40	13:55			
	瀬平集会所	三津間集会所	久野集会所	平谷	下長尾集会所	梅高	原山	久保尾	向井上	向井
Cコース	着 9:15	9:40	10:10	10:40	10:55	11:15	13:30	13:55	14:25	14:45
	発 9:30	10:00	10:30	10:50	11:05	11:35	13:45	14:15	14:40	15:00
	水川	田代	上岸集会所	総合支所	町文化会館	本川根小	徳山遊技センタ	正島		
Dコース	着 9:15	10:00	10:35	11:05	11:25	13:10	14:00	14:25		
	発 9:35	10:30	10:55	11:20	11:40	13:30	14:20	14:40		
	桑野山	寸又峠上駐車場	寸又峠公民館	やまびこ資料館	奥泉集会所	小井平				
Eコース	着 9:30	10:30	10:55	13:00	13:40	14:25				
	発 9:50	10:50	11:15	13:20	14:00	14:45				
	藤川西平	藤川保育園	藤川区事務所	崎平集会所	青部集会所	第一小	文澤	吉町河内	小竹	
Fコース	着 9:15	9:35	10:00	10:30	10:55	13:05	13:50	14:10	14:30	
	発 9:30	9:55	10:15	10:50	11:15	13:20	14:00	14:20	14:40	



日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
1 火	◆婦人科・乳がん追加検診 山村開発センター (8:30~11:00、13:00~13:30) ◆ヘルシーアップ教室 生活改善センター 9:30~12:00				
2 水	◆子育て支援「ひだまり」 豆まきしよう 子育て支援施設			Fコース	
3 木	◆あそびの教室 創造と生きがいの湯 10:00~11:30				
4 金	◆運動教室 健康増進施設 13:30~15:00			Aコース	
5 土			◆B&G海洋セ：夜休館		
6 日		かなや眼科 島田市金谷扇町3639 0547-45-0010	◆B&G海洋セ：夜休館		
7 月			◆B&G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Bコース	
8 火	◆定例乳幼児相談 創造と生きがいの湯 9:30~11:30				
9 水	◆ヘルシーアップ教室 文化会館 9:30~12:00		◆B&G海洋セ：ウエイトトレーニング講習会	Cコース	
10 木	◆子育て支援「ひだまり」 お楽しみ会・誕生会 子育て支援施設				
11 金			◆B&G海洋セ：夜休館		建国記念日
12 土			◆B&G海洋セ：休館		
13 日		坂井医院 島田市金谷都町10-1 0547-45-2069	◆B&G海洋セ：夜休館		
14 月	◆定例健康相談 千頭東区会館 9:30~11:30 ◆歌って遊ぼう♪森の広場・修了親子登園 さゆり幼稚園 ☎57-2233		◆B&G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Dコース	
15 火	◆静岡厚生病院追加健診結果説明会 山村開発センター 9:45~11:00 ◆静岡厚生病院追加健診結果説明会 文化会館 13:30~14:30 ◆糖尿病予防講演会 山村開発センター 13:30~15:45 ◆ことばの相談(予約制) 山村開発センター (9:30~11:30)		◆文化会館：休館		

日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
16 水	◆定例乳幼児相談 山村開発センター 9:30~11:30			Eコース	
17 木	◆子育て支援「ひだまり」 わらべ歌遊びほか 子育て支援施設				
18 金	◆幼児健診 山村開発センター (12:30~13:00)			Fコース	
19 土			◆B&G海洋セ：夜休館		
20 日		大下医院 川根本町下長尾219-1 0547-56-0019	◆B&G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館		
21 月	◆定例健康相談 創造と生きがいの湯 9:30~11:30 ◆地区巡回健康相談 崎平集会所 13:30~15:30		◆B&G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Aコース	
22 火	◆巡回発達相談(予約制) 山村開発センター 10:00~15:00 ◆おじさんキッチン 生活改善センター 10:00~12:00 ◆子育て支援「ひだまり」親子ふれあいデー 子育て支援施設				
23 水	◆地区巡回健康相談 八中集会所 9:30~11:30 ◆三種混合ワクチン予防接種 山村開発センター (13:30~14:00)			Bコース	
24 木	◆あそびの教室 山村開発センター 10:00~11:30 ◆糖尿病予防教室 文化会館ほか 9:30~15:00				
25 金	◆竹の子会 山村開発センター 9:45~14:00			Cコース	
26 土			◆B&G海洋セ：夜休館		
27 日		森外科医院 島田市金谷上十五軒1987 0547-46-1181	◆B&G海洋セ：夜休館		
28 月	◆定例健康相談 山村開発センター 9:30~11:30 ◆地区巡回健康相談 水川集会所 13:30~15:30		◆B&G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Dコース	

2月27日は「生涯学習のつどい」
 「生涯学習のつどい」は、本年度の生涯学習への取り組みについて発表する場です。皆様のご来場をお待ちしています。詳細は21ページをご覧ください。
日時 2月27日(日) 午後1時から
場所 文化会館ホール(東藤川909-1)

休日当番医はこちらのホームページでご確認ください。
 ㈱榎原郡医師会HP <http://www.haibara-med.or.jp/>

子育て支援施設 ☎(57) 2231 休館日：日、月、祝日

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、広報編集時の予定です。
 予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。

ここにも、一つの物語。
 広報かわねほんちょう

進学費用などを町がサポート 町育英奨学生 hopeful 者を募集します

「進学費用が気になって希望の進路はあきらめなきや...」。今、学生の皆さんに何より必要としてほしいのは、新しい道にチャレンジする強い意思です。本町では、経済的理由により修学が困難な生徒に対して、人材育成を目的とした奨学金を貸与しています。上手に活用して、あなたの進路選択に役立ててください。

奨学生の資格

- 次の条件すべてに適合する生徒を対象とします。
- ①保護者が川根本町に居住している者
 - ②学業・心身ともに優良と認められる者
 - ③学資の支弁が困難と認められる者
 - ④高等学校、大学またはこれと同等程度の学校に在学・進学するもの

奨学生の願出

奨学金貸与を希望

望む場合は、在学する学校長の推薦を受け、次の書類を提出してください。

- ①奨学生願書
 - ②奨学生推薦書
 - ③医師の健康診断書
 - ④他の奨学金の給付または貸与を受けている者および受ける予定がある者はその調査
- ※奨学生は、別に定める選考委員会の選考を経て決定します。

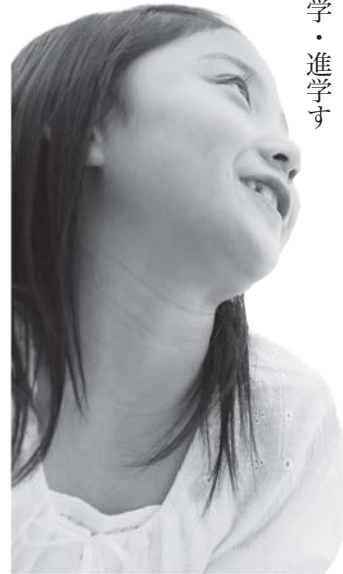
奨学金の額 月額1万円以内

返済期限

最終学校を卒業後5年以内

募集締切 2月28日

詳細については、教育総務課までお問い合わせください。



茶業などに関する5項目について 農業委員会が町に対し要望書を提出

本町農業委員会の小林基会長と中野暉職務代理者は12月21日、役場本庁を訪問し、佐藤町長に対して平成23年度の農業施策などについて要望しました。

今回要望した内容は①担い手および後継者の育成確保対策に

ついて②基盤整備の実施③防霜ファンの更新に対する支援④耕作放棄地と鳥獣害に対する支援⑤新たな市場などの開拓に対する予算措置の5項目について



佐藤町長に要望書を手渡す小林基会長(写真中央)と中野暉職務代理者(左)

小林基会長は、茶価の低迷によって担い手や後継者の確保が難しくなっている本町の現状、昨年3月末に発生した凍霜害によって再認識された防霜ファンの重要性、耕作放棄地が増加している現状、新たな川根茶の市場開拓の必要性などについて訴え、新たな農業振興施策の実行を要望しました。佐藤町長は「要望事項を重く受け止め、前向きに考えたい」と答えました。

この委員会では、超高速ブロードバンドの活用や、整備方法、提供するサービスの内容などについて検討をしていきます。また、「総務省『光の道』構想」や「3・9世代携帯電話」



第1回推進委員会開催の様子

などについて、有識者や事業者による説明を聞きながら、情報の共有を図っていきます。町では、委員会での検討結果を議会や住民の皆さんに報告、公表することで、今後の議論につなげ、この町にとって「最適な事業計画」を策定したいと考えています。

【第1・2回委員会の概要】

第1回委員会では、総務省東海総合通信局の松山和馬情報通信振興課長から、ICT(情報通信技術)活用によって進める地域活性化や「光の道」構想実現に向けた説明、県情報政策課樋口博課長から、静岡県の地域情報化の推進施策について説明を受けました。

第2回委員会では、ドコモが提供するLTEサービス、光通信網で実現するパナソニックの次世代双方向サービスなどの説明を受け、今後の議論の中心となる「利活用」について活発に意見を交わしました。

情報通信基盤整備事業推進検討委を設置 住民生活の向上目指し検討を重ねる



本町は平成21年度に「川根本町健やかウォーキングカード」を制作しました。どなたでも個々の目標歩数・距離・時間などを地区の保健委員に申告してカードの交付を受けることができます。地域の健康づくりリーダーである保健委員にとっても地域住民の皆さんと身近に触れ合うこと

ができる新たな活動の一つとなっています。

一枚のカードには60日分の歩行記録ができ、3枚(180日分)のカードがいつぱいになった人を「健やかウォーキング実践者」として紹介します(掲載の同意が得られた人のみ)。

平成23年1月号に掲載した特集「わたしらしく」で紹介された桑野山の柚本金一さんは、健やかウォーキングカード記録3枚達成者第1号です。その後、町内の保健委員から、続々と実践者の報告が届いています。

朝夕に、家族や仲間と一緒にウォーキングしている人を多く見かけます。まだ「健やかウォーキングカード」の交付を受けていない人は、地区の保健委員が生活健康課健康室・住民生活室まで申し出てください。

実践(達成)者の報告が続々届いています 健やかウォーキングカード達成者を紹介

地区	実践者	目標歩数(一日当たり)	180日間合計歩数	保健委員
桑野山	柚本 金一	5,000~7,000歩	865,500歩	中村 晴江
久保尾	西村喜代司	10,000歩	1,161,452歩	水口富佐江
久保尾	西村 静子	10,000歩	1,071,489歩	水口富佐江
久保尾	水口 眞夫	10,000歩	2,245,569歩	水口富佐江
久保尾	水口富佐江	13,000歩	2,953,644歩	水口富佐江
接 岨	筑地 順子	3,000歩	506,050歩	大石 文江

消防団出初め式に312人の精鋭が集結

平成23年川根本町消防団出初め式は1月9日、中川根中学校体育館および同校グラウンドで挙行され、団員312人が集結しました。開会式に引き続いて挙行された表彰式では、長年消防団活動に尽力し、功績があった多くの団員に表彰状が手渡されました。長尾川横で実施された一斉放水では、放水された水の軌跡に重なるように見事な虹が出現。まるで1年間の無災害と消防団の発展を祈願するような光景でした。本町消防団の1年は、この出初め式で幕を開けます。



一斉放水で、あざやかな虹が出現した。



国旗に向かって敬礼



見守る来賓の皆さん



町長などによる関団



訓練成果を披露する

第1分団	分団長	村松 明
第2分団	分団長	小澤昌司
第3分団	分団長	中村浩信
第4分団	分団長	竹野克彦
第5分団	分団長	岡本育夫
第6分団	分団長	長嶋洋晃
第7分団	分団長	西村 樹
第8分団	分団長	西原崇浩
静岡県消防協会棟原支部長・川根本町優良団員表彰 (勤続功労章 (5年))		
第2分団	団員	榎田竜也
第3分団	団員	菊池 寛
第3分団	団員	鈴木史朗
第5分団	団員	澤田裕喜
第5分団	団員	前川 健
第5分団	団員	鈴木隆三
第6分団	副団長	鈴木茂徳
第6分団	団員	春澤猛士
第6分団	団員	諸田一晃
第6分団	団員	藤田正人
第8分団	団員	向島秀敏
第8分団	団員	藤田健吾
第8分団	班長	前田善啓
第8分団	副団長	横畑和哉

※日本消防協会長表彰は2月に表彰状を受理

表彰者一覧 (敬称略)

日本消防協会長表彰 (精績章)

本 部 副団長 安江明彦

静岡県消防協会長表彰 (特別功労章・勤続功労章 (20年))

本 部 副団長 中村光一

本 部 部 長 北村浩二

本 部 班 長 向島裕人

第1分団 副団長 神谷 毅

第1分団 班 長 鈴木克則

第1分団 班 長 坂本尚司

第5分団 団員 相村 禎

第8分団 班 長 柿下正寿

(功労章・勤続功労章 (15年))

本 部 副団長 諸田 環

本 部 本部長 森永高夫

本 部 班 長 服部了士

第3分団 班 長 宮木典彦

第3分団 班 長 山下光輝

第4分団 団員 中村 浩

第5分団 団員 山本雅俊

第6分団 団員 澤本英季

第7分団 団員 中村和良

第7分団 団員 松井伸幸

第8分団 班 長 下出政幸

静岡県消防協会長・棟原支部長表彰 (勤続功労章(10年)・功績章(10年))

第2分団 団員 和田 康

第3分団 団員 芹澤範明

第4分団 団員 原田和馬

第5分団 副団長 森井勝久

第5分団 部 長 金子健司

第5分団 班 長 西村健一

第5分団 班 長 中澤剛久

第5分団 団員 山本忠広

第5分団 団員 丹田祐介

第5分団 団員 中谷雅文

第6分団 班 長 藺田雄久

第6分団 団員 中田大亮

第7分団 副団長 原田真人

第7分団 団員 高木俊彦

第7分団 分団長 西村 樹

第8分団 団員 遠藤啓史

第8分団 団員 市川洋基

第8分団 団員 中島忠之

静岡県消防協会棟原支部長表彰 (特別功労章)

本 部 本部長 坂本喜弘

正月の恒例行事を2つ紹介

3世代交流もちつきと商工会支部巨大門松

商工会第7支部(高郷、八中、梅高)では「ジャンボ門松」を製作し12月18日、国道沿い(梅高地区・通称横ガレ)に設置しました。この門松は竹の部分が高さ約3m、直径30cmほどもある巨大なもの。藤田益広支部長は「景気づけになるように、見た人が元気になれるようにと作りました。数年は続けたい」と話していました。門松は1月15日まで約1カ月設置しました。梅高地区では12月25日、3世代交流もちつきを開きました。住民が持ち寄った臼と杵を使い、大人と子どもが一緒になって楽しそうに杵をふるいました。



▲商工会第7支部。役員、会員の皆さんが11月上旬から12月中旬まで、約1カ月半かけて製作しました。梅高集会所で開かれた3世代交流もちつき。できあがったもちは、きなこなどでおいしくいただきました。



先生と健康委員会の子どもたち。

健康づくり活動認められ

本川根小が県健康推進優良校の表彰

本川根小ではこのほど、平成22年度県健康推進優良校に選出され、県学校保健会から表彰を受けました。

健康推進への取り組みが認められた学校に贈られる賞で、本年度は県内の5校が受賞しました。

「本年度は家族で歯磨き、生活リズムを整えよう、親子スキンシップなどの活動に取り組んできました。地域の皆さんのご協力があってこそこの受賞。皆さんと分かち合いたいです」と山下教頭は話していました。



新しい配送車。側面のかわいいイラストが目印。

おいしい給食を運びます

学校給食調理場に新配送車がお目見え

学校給食共同調理場の新配送車が12月27日、本庁にお目見えしました。この車両は、いすゞメルフ2トン車。仕様は低床型、冷蔵・冷凍車となっています。また車両後部には、コンテナリフトが装備されています。車両全体は白色で塗装され、側面には調理員、男の子、女の子、その上部には野菜、魚、パンなどの食材が描かれています。「子どもたちに、おいしく給食を食べしてほしい」という、同調理場の思いが込められたイラストです。新車両はお披露目後、同調理場に配備され、1月11日から北部地区で業務を開始します。

これからも世界で活躍して

大村朱澄さんを囲む会を川根高校で開催

カヌースプリント女子の日本代表として第16回アジア競技大会に出場し、2人乗りで銀メダル、4人乗りで銅メダルに輝いた大村朱澄さん(本町田代出身・早稲田大3年)の活躍を祝う「大村朱澄さんを囲む会」は12月14日、川根高等学校体育館で開かれ、同校生徒や多くの住民の皆さんが訪れました。

朱澄さんの健闘をたたえ、町体育協会からは「川根本町体育協会表彰」表彰状と記念品が、川根高校在校生からは花束が贈られました。

このあと来場者の前に立った朱澄さんは、アジア競技大会を振り返っての感想や今後の展望などについて、次のように語りました。

これまでさまざまな国際大会に出場しましたが、アジア競技大会は初めての出場でした。金メダルを目標に取り組んでいましたが、結果は一步届かず銀メダルと銅メダル。くやしい思いもありますが、これまでの日々を振り返ってみて、悔いは残っていません。

今年はハードな練習が続き、人生の中で初めてと言っていいくらい悩みました。メンバーの足を引っ張っていないかと不安に思うこともあり、自分は弱い人間だと下を向いてしまうときもありました。でも『夢』や『目標』だけは絶対に見失わない。あきらめず、一つずつ壁を乗り越えることで、自分はさらに強くなれると、常に前向きに考えるようにしました。

オリンピックで表彰台に立つという夢に、「皆さんにいい結果を報告し喜んでほしい」という夢が加わりました。カヌーを続けられることに感謝しながら、これからも夢に向かって進んでいきたいと思っています。

会の終了後、朱澄さんが退場する場面では、来場者全員が立ち上がり、拍手で朱澄さんを見送りました。

東海道由比宿とSBS静岡新聞社を見学

むつみ学級学習会「視察研修」を実施しました



ゆい桜えび館を見学する学級生たち

むつみ学級では12月8日、学級生40人が参加して視察研修を実施しました。今回訪れたのは由比「ゆい桜えび館」とSBS静岡新聞社。ゆい桜えび館では笹間代表より、特産の桜えびと、由比本陣を中心とした街並み景観を生かした取り組みについて説明を受けました。SBS静岡新聞社では、TVスタジオ、ラジオ放送の現場、新聞社内を見学しました。

学級生は「新聞が大勢の人の手で作られていることが分かった」「小さな桜えびから始まった町おこしの話、熱い心とパワーに感心した」と話しました。

むつみ学級（60歳以上女性）では、生き生きと毎日を過ごすため学習の場を開催しています。あなたもぜひ参加してみませんか（4月に募集します）。

学校の冬季休業期間中および年末年始にかけ

町内4カ所中心に冬季少年補導巡回パトロール

学校の冬季休業期間中および年末年始にかけ、県下一斉冬季少年補導の活動を実施しており、本町では12月27日午後7時から、町教育委員、社会教育委員、町内小中学校の代表者29人が参加して、下長尾、上長尾、徳山、本川根警察官派出所管内

4カ所を中心に、冬季少年補導巡回パトロールを実施しました。

今後も、青少年の非行を未然に防止するため「冬季少年補導巡回パトロール」を継続して実施し、地域の青少年の健全育成に努めていきます。

2月27日(日)午後1時から文化会館で開催します

一年間の集大成「生涯学習のつどい」にご参加を



昨年のつどいから

「生涯学習のつどい」は、本年度の生涯学習への取り組みについて発表する場です。皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 2月27日(日) 午後1時から

場所 文化会館ホール（東藤川909-1）

内容 町民読書感想文・感想画コンクール表彰式、学習発表（中学生海外英語研修・小学生県外体験学習・地区生涯学習事業・生涯学習講座発表）など



本町では、町民の皆さんが読書に親しみ、読書の習慣が根付いてほしいと願い「読書のまちづくり」を進めています。

この活動の一環として、町内の小学1年生、4年生と中学2年生全員に本を贈るブックステップ事業を展開しており、その贈呈式が12月下旬に各校で開かれました。

本年度は、各学校ごとに推薦された数種類の本の中から「自分が読みたいと思った本を選ぶ」方法で贈呈しました。小学1年生（42人）には「ずいどん先生と化け玉」

「どんなにきみがすきだかあててごらん」「にほんご」「いもほりやま」を、小学4年生（63人）には「クイールはもうどう犬になった」「おじいさんのランプ」「あえてよかったね」「ずるやすみにかんぱい!」を、中学2年生（54人）には、「坊ちゃん」「14歳からの哲学」「夏の庭」「ハッピーライフ」の中から1冊が贈られました。

子どもたちには、これからたくさん本と出会い、読書を通して豊かな心をはぐくんでほしいと願っています。

読書を通して豊かな心をはぐくむためのブックステップ事業
小学1・4年生と中学2年生に本をプレゼント

3日(木)

生涯学習推進協議会研修会
（山村開発センター）

6日(日)

家庭教育学級合同研修会・閉講式（山村開発センター）
午前9時～

19日(土)

ふるさと発見団

27日(日)

生涯学習のつどい
（文化会館ホール）

今日の町民ギャラリー展示

①水難事故防止ポスター入賞作品 中部電力(株)静岡支店 ～2/10

②フォトコンテスト入賞作品・和紙のあかり展出品

中部電力(株)大井川電力センター

今日の文化会館ロビー展示

①水難事故防止ポスター入賞作品 中部電力(株)静岡支店 ～2/22

②生涯学習講座 講座受講生 2/24～3/8

③文化協会作品展 町文化協会 2/23～3/11

【お知らせ】来年度も町民ギャラリーと文化会館展示コーナーに、町民または町出身者の手作りの作品を展示予定です。作品の展示希望のある人は、教育委員会までご連絡ください。

今月の予定

教育委員会生涯学習課

☎ (58) 7080

春の展示会 2月18日(金)～22日(火)に開催します

お客様にはハガキにてご連絡いたします。 ※期間中、通常営業（修理もいたします）

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 ㊚56-0009

デイサービス見学・体験してみませんか！

介護の必要な皆様に「楽しく」「穏やかな」1日を提供します。
お気軽にお問い合わせください。



あかいしの郷 デイサービスセンター

川根本町徳山1620番地の1

（お問い合わせ）0547-57-1234



生涯学習のひろば

■本庁代表 ☎ (56) 1111 ■総合支所代表 ☎ (59) 3111

診療日をよくお確かめの上、ご来院ください

いやしの里診療所・2月診療日をお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 午前のみ 高木医師	5
6	7 9-16時 高嶋医師	8	9 午前のみ 朝田医師	10	11	12
13	14 9-16時 高嶋医師	15	16	17	18 午前のみ 高木医師	19
20	21 9-16時 高嶋医師	22	23 午前のみ 島田医師	24	25 午前のみ 高木医師	26
27	28 9-16時 高嶋医師					

住民生活室 からご案内

いやしの里診療所は当面の間、次のとおり診療します。地域の皆さんにはご迷惑おかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。診療日はカレンダーのとおりですが、祝日は休診日となりますのでご注意ください。

受付時間

- 月曜日 午前8時30分～11時
午後1時～3時30分
- 第2、4水曜日 午前8時30分～11時
- 金曜日 午前8時30分～11時

総合支所住民生活室 ☎ (58) 7070

地震保険は地震・噴火 津波による損害を補償

（社）日本損害保険協会静岡支部

静岡県は東海地震などの大規模地震の発生が懸念されている地域です。こういった大規模災害には、自助努力による防災対策が大切です。その一つに「地震保険」があります。

地震保険とは、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険で、地震、噴火、津波による居住用建物とその家財の損害を補償する保険です。災害後の保証制度として非常に有効な役割を担っています。しかし、県内の地震保険付帯率は51.5%。全国10番目と、決して高い数値ではありません。

地震保険は火災保険とセットで契約する保険です。火災保険を契約してい

れば、その契約期間の途中からでも地震保険を契約することができます。また地震保険の商品内容や保険料については保険会社による違いはありません。


現在火災保険を契約している人は、その契約の損害保険代理店または、損害保険会社に、ぜひご相談ください。※大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が発令された後は、東海地震にかかる地震防災対策強化地域内にある建物・家財について、新たに地震保険を契約することや増額することはできませんのでご注意ください。静岡県は全域が同強化地域に指定されています。

備えあれば憂いなし。地震保険を契約し、万が一に備えましょう。

【問】（社）日本損害保険協会静岡支部
☎054 (252) 3334 ☎054 (273) 2514

【募集期間】平成23年
Workers Art Exhibition 2011
2/28(月)～3/18(金)
★出品料は無料です
★全ての作品を展示します
★出品者全員に参加賞を進呈

アート募集中!



静岡県労働者総合美術展

認定には毎年の申請が必要です 障害者控除対象 者に準ずる認定

介護保険から お知らせです

所得税などの確定申告の際、身体障害手帳や療育手帳を持っていないでも「障害者控除対象者に準ずる認定」の対象になる場合があります。

これは毎年12月31日現在の認定情報（直近の要介護認定時の心身状態）から町が認定するもので、確定申告時に「障害者（特別障害者）控除」が受けられるという制度です。

「障害者控除対象者に準ずる認定」を受けるためには毎年の申請が必要です。全ての人が対象となるわけではありませぬので、認定を希望する人は、福祉課か総合支所福祉介護室までお問い合わせください。

福祉課 ☎ (56) 2224 総合支所福祉介護室 ☎ (58) 7071

3月2日から25日（予定）まで期間限定 木造住宅耐震補強の 補助が最高80万円に

建設課から ご案内です

通常、耐震補強工事を施工すると、町からの補助金「最高50万円」が交付されています。

このほど国の緊急経済対策の一環で、平成23年3月2日から25日（予定）に補助金申請を済ませ、交付決定を受けた耐震補強工事に限り、補助金が30万円上乗せされ「最高80万円」の交付となります。この期間内に交付決定された工事については、平成23年9月ごろまでに完了すれば結構です。

補助の対象となる木造住宅は、昭和56年5月31日以前に建築されたもの（長屋、共同住宅、借家含む）です。

補強工事を実施するためには、事前に耐震診断を受け、補強計画書を作成する必要があります。この補強計画書の作成についても、補助金（最高9万6千円）が交付されます。

木造住宅耐震補強工事の補助金については、これ以外にも条件がありますので、ご不明な点は建設課まで気軽にお問い合わせください。

※予算の枠には限りがあります。

耐震補強工事とは…

押し入れの壁や外壁を中心に耐力壁（筋かいや構造用合板）を設置するなど、施工範囲を最小限にとどめバランス良く配置することで費用を抑え、なるべく生活に支障をきたさないよう耐震補強するのが一般的です。



建設課 ☎ (56) 2227

衣料品・雑貨の店

窓

川根温泉そば・村の市で営業中
営業時間 午前10時～午後4時
定休日 第一火曜日

- 土曜日・日曜日にオザワマートのプリペイドは1万円で10,600円に！ 600円お得です！（お酒・たばこの販売を始めました）
- 2,000円お買い上げの際、卵、砂糖などが100円になります。



新年あけましておめでとうございます
今年も地域の皆さまに一生懸命貢献していきます
本年もよろしくお願いいたします

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL: 0547 (56) 0150

■本庁代表 ☎ (56) 1111 ■総合支所代表 ☎ (59) 3111

60万円以下の支払いの
トラブルに「少額訴訟」

静岡地方裁判所

少額訴訟手続きは、少額（60万円以下）の金銭の支払いをめぐるトラブルを速やかに解決するための手続きです。原則として1回の審理で終了し、審理が終了した後ただちに判決の言い渡しながされます。

ただし、審理を1回で終わらせるためには、口頭弁論の期日前に自分の主張を整理し、これに対応する証拠をそろえるなど事前準備をする必要があります。

裁判所の入口にリーフレットや定型の書式が備えられていますのでご利用ください。また裁判所ホームページから一部の書式をダウンロードすることができます。

http://www.courts.go.jp/

【問】静岡地方裁判所

☎054 (252) 6111

「富士山の日」にちなんで
ウォーキング参加者募集

かなや観光ボランティアの会

かなや観光ボランティアの会では2月20日、富士山の日にちなんで「富士山を遠望しながら歴史の道ウォーキング」を開催します。ご参加ください。

日時 2月20日 午前9時～
内容 富士山を遠望しながら、旧東海道11年街道を登り、行人塚や諏訪原城跡、芭蕉塚などの史跡をウォーキングで巡ります。

集合場所 大井川鐵道金谷駅

参加費 昼食代・電車賃は実費

申込締切 2月13日

見学コース 金谷駅―電車で日切駅―日切り地蔵―夢づくり会館―行人塚―諏訪原城跡―芭蕉塚―石畳茶屋―JR金谷駅（午後2時解散予定）

【問】かなや観光ボランティアの会

☎ (46) 2844 FAX (46) 2861

焼津さわやかハイキング
一足早い春を感じながら

県立焼津青少年の家

魚の町焼津の魅力満載。高草山からは富士山、志太平野、駿河湾の大パノラマ。一足早い春の気配を感じながら歩いてみませんか。富士山の日協賛事業です。

日時 2月26日～27日（1泊2日）
（26日午後1時30分～27日午後3時45分）

内容 焼津市内の散策。大漁旗染め上げ体験や海洋深層水体験、高草山ハイキングなど

対象 健康な人。未成年者（小学1年以上）は保護者同伴で参加可。

定員 50人程度

参加費 一人3,540円（食事、宿泊、保険料など含む）

申込締切 2月6日午後5時までに電話で申し込んでください。参加者多数の場合は抽選。

【問】県立焼津青少年の家 指導部

☎054 (624) 4675

趣味、教養、資格まで
NHK学園受講生募集

NHK学園広報・学習支援センター

NHK学園では生涯学習通信講座の受講生を募集しています。まずは無料の案内書をご請求ください。

募集内容 生涯学習通信講座（主な講座：俳句、短歌、川柳、書道、ペン字、写経、水彩画、絵手紙、写真、自分史、古文書、漢方薬膳、ハーブ、折り紙、ハングル、セルフ・カウンセリング、簿記など。趣味から資格まで全200コース以上）

受講期間 3カ月～1年

申込方法 ご請求により案内書をお届けします。電話、ファクス、ホームページから申し込みできます。

募集期間 通年申込受付
※年齢は、どの講座についても制限はありません。案内書の請求は次まで。

【問】NHK学園広報・学習支援センター

☎042 (572) 3151 FAX042 (574) 1006
http://www.n-gaku.jp/life

今月の納期

◆固定資産税・第4期分
◆国民健康保険税・第8期分
納期限は2月28日です。口座振替の人は2月28日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。

税務課 ☎ (56) 2223

川根本町の人口

平成23年1月1日現在

世帯数	3,055	世帯 (-4)	【44】	出生	2	人	【0】
総人口	8,462	人 (-23)	【73】	死亡	15	人	【0】
男性	4,129	人 (-14)	【15】	転入	3	人	【0】
女性	4,333	人 (-9)	【58】	転出	13	人	【1】

※ ()内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

より良い品を より安く

オザワマート

営業時間・午前9時～午後7時

川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

有効期限：2011年2月末日

御食事処 村の窓 2割引券

営業時間：午前11時～午後2時 定休日：木曜日

この券1枚で2名様まで ※土曜・日曜はご利用になれません。

この券を切り取ってお持ちください。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

本年度の「中学生の税に関する作文」には全国7344の中学校から54万3735通の作品が寄せられた。石黒明日香さんが全国納税貯蓄組合連合会優秀賞、高瀬瑠菜さんが島田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞に選ばれた。受賞作文の内容から2人の税に対する考え方を紹介する。

石黒明日香さんの作文「税は私たちが暮らしの中に」。通院をきっかけに税金の大切さに気付いた経緯が述べられている。

空手の試合中に足をケガした明日香さん。病院で診察・検査した結果、骨折していることが分かった。レントゲンなどの検査費用が高額になるのではと心配しながら会計に向かった。

「そうしたらビックリ。500円で済みました。さらに驚くことに、診察後に薬局に行つて痛み止めの薬と塗布薬をもらいましたが、このお金もかかりませんでした。」

不思議に思った明日香さんが、付き添ってくれた祖父に尋ねると「町の補助のおかげだよ。ありがたいことだね」と教えてくれたという。

補助について興味を持った明日香さんは、町のホームページで調べてみると小学生対象の医療費助成が、中学生まで拡大されたという記事が載っていたのだ。

「本町は高齢化率が高く、決して豊かな町ではありません。お金をかけなければならぬことはたくさんあります。でもこの町では財政が苦しくて、子どもの教育などに力を注いでくれています。医療費もそうだし、スクールバスもそう。カナダ研修への助成などもそうです。私たちが安心して学校生活を送ることができているのは、町が税金を納めてくれたおかげです。」

高瀬瑠菜さんの作文「川根本町で過ごす生活」。住民自らがまちづくりに取り組む姿勢を誇りに感じている様子が表現されている。

中学一年のとき、静岡市から本町に越してきたという瑠菜さん。この町の第一印象は『さみしいところ』だった。しかし学校生活を送るうちに、そんなマイナスのイメージは次第に薄れていったという。

「学校の友達や近所の人は優しい人ばかりでした。奉仕作業や資源回収などに、地域の人たちが積極的に参加する姿がとても素晴らしいと思えました。以前住んでいた静岡市ではあまり見られない光景でした。」

瑠菜さんは「税金が少ない本町。いろいろな面で節約しなければなりません。だからこそ、少しでも自分たちで町をきれいにしようとする心が大事。町に頼るのではなく、少しでも自分たちで何ができるのか考え、実行していきたい」とまとめている。

のまち
の未来



高瀬
瑠菜さん

Takase Runa

島田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
本川根中2年

石黒
明日香さん

Ishiguro Asuka

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞
本川根中2年

生活に溶け込む「税の大切さ」

本中生の「税の作文」が各賞を受賞

充実していた台湾への修学旅行

私たち川根高校2年生は、12月6日から10日までの5日間、修学旅行で台湾へ行ってきました。修学旅行の前には現地の下調べをしたり、ビデオを見たりして、台湾という国について勉強し、期待と不安でいっぱいになりながら現地に向かいました。



空港に到着しても「外国に来た」という実感はさほどわかりませんでした。ガイドさんの話を聞いているうちに「ここは日本と、ましてや川根とは違う場所なんだ」と感じるようになりました。観光地などをいくつも巡りましたが、私の記憶に残っているのは、やはり現地の学校との交流会でした。とても友好的な雰囲気です。歓迎会をしました。その後校内を見せってもらったり、一緒に授業を受けたりしました。歓迎会では、川高生の出し物も現地の高校生のお土産も大いに盛り上がり、人々の温かさを感じました。授業では習字を習いました。しかし、先生は当然中国語で話すため理解できません。通訳の人も「専門用語なのでわかりません」ということが多く戸惑いました。私には、あまりにも崇高な世界観すぎて、内容をよく理解するまでには至りませんでした。交流会では英語の習熟度の差を痛感し、もっと勉強しなくてはいけないと心を引き締めました。

川根高校2年 西原命美

忠烈祠の衛兵さんの交代式を見たり、故宮博物院をぐるりとまわったり、班別行動で盛り上がり、とても楽しい5日間を過ごすことができました。私はこの修学旅行を経験して、台湾という国へ行くことで、改めて日本の良さを知ることができたような気がします。規則ばかりで窮屈に感じることもあるけれど、その規則があつてこそ安全に毎日を送れたり、自由な部分もあつたりするようです。もつといろいろな面から日本を見つめてみるため、これからも勉強に励みたいと思います。



修学旅行を経験して改めて日本の良さを知ることができたと話す西原命美さん

column

1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう



萬平 琥太郎 くん

父：吉彦・母：寿枝
11カ月で20歩くらい歩いてから、お姉ちゃんに乗ったアンパンマンの車を追いかけるのが楽しそう♪ これからも、元気いっぱい遊んでね。お誕生日おめでとうー♡

H 22・1・26生 地名



西原 瑠花 ちゃん

父：伊佐人・母：里佳
とってもやんちゃな瑠花！じっとしているのが大嫌い！いたずら大好き！そんな瑠花が、パパとママのたからものだよ♪ お誕生日おめでとう♡

H 22・1・10生 久野 脇

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ😊

Birthday

つれづれなるままに
編集後記

毎年取材する成人式。今回で5回目となる。今年は、私の知人が成人するとあって、例年以上に感慨深いものがあった。晴れ着姿が良く似合う。高校入学時から知っしは消え、着実に大人の階段を登っていると感じさせてくれた。自らが選んだ目標に向かって、精いっぱい今を生きる若者たち。立ち止まったり振り返ったりしながら、目標に向かって、ゆっくりと歩んでほしい。

「新成人たちに負られない」。毎年勇気づけられているのは、実は、私の方かもしれない。

小笠原 聡



※「くらしのカレンダー」は当分の間、誌面の中に組み込まれます。これまで同様、外してご使用ください。

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。
■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届出のうち、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載。生活健康課 ☎(56) 2222

地区	氏名	享年	届出人
奥泉	西井戸益南	84	寛二
奥泉	土本秋雄	83	道子
千頭東	鈴木八重	90	敏夫
小長井	芹澤茂己	81	健一
洗富小幡	本間耕治	62	早苗
藤川	西村仁藏	91	ち多子
上長尾	春澤文雄	90	修
高郷	小澤里美	50	敦夫
下長尾	梶山元子	70	昭一
久保尾	大石まさ子	86	義治
久野脇	藤田春江	83	寿雄
地名	森下春博	77	正章
下泉	柿下忠男	81	悟
下泉	片川ふみ江	82	利彦

family registration

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)

www.town.kawanehon.shizuoka.jp

あなたの知らない川根本町がここに

くらしの情報、行事紹介、まちの話題が満載。町ホームページは、あなたの訪問をお待ちしています。川根本町の今を知るなら「川根本町ホームページ」。

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎☎0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

みんなの広場

発行：川根本町 編集：企画課広報情報室 ☎0547-2221
住所：〒428-0303 静岡県静岡市川根本町上平屋のん
広報かわねほんちようは再生紙を使用しております。

広報かわねほんちようは、おたよりなどお持ち帰りします。
町内調子など、広報「かわねほんちよう」へお問い合わせください。
☎0547-22211 従来印刷用紙(50%再生紙)を使用しております。



平成23年新成人 女性 44人
平成2年4月2日—平成3年4月1日生

a coming of age ceremony

新成人の皆さん
おめでとーございます



平成23年新成人 男性 64人
平成2年4月2日—平成3年4月1日生

